

スーパーマーケット販売統計調査資料

2024年9月実績 速報版
8月実績 確報版

(2024年10月22日公表)

調査資料概要

【パネル270社集計】

食品を中心に扱うスーパーマーケットを対象に同一企業を集計

【集計項目】

商品分類別・エリア別・保有店舗別集計

集計企業数、総店舗数、総売場面積、店舗平均月商、売場1m²あたり売上高

【速報版・確報版】

速報版:前月販売実績を速報値として公表 確報版:速報値に精度の高い集計を加え確報値として公表

【全店・既存店】

全店:前年同月全営業店舗と当月全営業店舗の比較 既存店:前年同月、当月共に営業の店舗による比較

【商品分類】

総売上高	食品合計	生鮮三部門	青果	野菜類、果実類、花
			水産	魚介類、塩干物
			畜産	食肉類、肉加工品
		惣菜	惣菜、折詰料理、揚物、弁当、おにぎり、寿司、インスタペーカリー、ファーストフード	
		日配	豆腐、こんにゃく、納豆、練製品、佃煮、漬物、パン、卵、乳製品、生菓子、冷凍食品、アイスクリーム	
		一般食品	調味料、瓶缶詰、乾物、米、小麦粉、乾麺、嗜好品、菓子、酒類	
非食品	日用雑貨品、医薬・化粧品、家具インテリア、家電製品、婦人衣料、紳士衣料、文具、玩具			
その他	テナント売上高、タバコ・ギフト販売、その他取次業(DPE、クリーニング、宅配便、レンタル、チケット販売等)			

【地方分類】

北海道・東北地方	北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島
関東地方	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
中部地方	新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知
近畿地方	三重、滋賀、奈良、和歌山、京都、大阪、兵庫
中国・四国地方	岡山、広島、鳥取、島根、山口、香川、徳島、愛媛、高知
九州地方・沖縄地方	福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄
北日本日本海側	北海道の日本海側とオホーツク海側(宗谷南部)、東北日本海側
太平洋側	北海道の太平洋側とオホーツク海側(網走・北見・紋別地方)、東北太平洋側
東日本日本海側	北陸地方
太平洋側	関東甲信、東海地方
西日本日本海側	近畿日本海側、山陰、九州北部地方
太平洋側	近畿太平洋側、山陽、四国、九州南部
沖縄・奄美	鹿児島県奄美地方、沖縄地方

一般社団法人 全国スーパーマーケット協会

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会

オール日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査に関するお問い合わせ

tokei@super.or.jp

2024年10月22日

一般社団法人 全国スーパーマーケット協会
 一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査
 2024年9月実績 速報版 (パネル270)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	103,614,885	100.0%	103.2%	102.1%
食品合計	95,708,818	92.4%	103.3%	102.1%
生鮮3部門合計	35,691,936	34.4%	103.7%	102.5%
青果	15,333,362	14.8%	104.9%	103.8%
水産	8,611,430	8.3%	103.1%	101.8%
畜産	11,747,145	11.3%	102.7%	101.3%
惣菜	11,702,560	11.3%	104.2%	102.8%
日配	21,401,409	20.7%	100.9%	99.9%
一般食品	26,912,912	26.0%	104.4%	103.1%
非食品	5,553,346	5.4%	101.3%	101.2%
その他	2,352,766	2.3%	101.3%	101.1%

地方分類別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北地方	13,767,477	43	102.0%	100.8%
関東地方	38,590,696	73	104.0%	102.8%
中部地方	12,648,908	53	102.8%	102.0%
近畿地方	22,990,688	44	102.9%	101.4%
中国・四国地方	10,478,565	34	103.4%	102.8%
九州・沖縄地方	5,138,551	23	103.3%	103.0%

保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	526,949	46	100.3%	100.3%
4~10店舗	4,439,575	83	101.5%	100.4%
11~25店舗	8,462,868	49	101.8%	102.7%
26~50店舗	18,040,902	46	101.9%	101.1%
51店舗以上	72,144,591	46	103.8%	102.4%

集計企業数 (社)	270	既存店総売上高 (万円)	102,001,551
総店舗数 (店舗)	8,389	店舗平均月商 (万円)	12,351
総売場面積 (㎡)	13,983,145	売場1㎡あたり売上高 (万円)	7.4

※売上高は税抜金額

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

2024年10月22日

一般社団法人 全国スーパーマーケット協会
 一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査
 2024年8月実績 確報版 (パネル270)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	113,739,429	100.0%	105.8%	105.0%
食品合計	104,520,192	91.9%	106.0%	105.0%
生鮮3部門合計	37,920,705	33.3%	105.4%	104.5%
青果	16,337,155	14.4%	106.8%	106.1%
水産	9,243,466	8.1%	104.8%	103.9%
畜産	12,340,084	10.8%	104.0%	102.9%
惣菜	13,062,828	11.5%	105.5%	104.3%
日配	22,846,998	20.1%	102.7%	102.0%
一般食品	30,689,662	27.0%	109.6%	108.5%
非食品	6,590,714	5.8%	103.9%	103.6%
その他	2,628,564	2.3%	103.6%	103.7%

地方分類別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北地方	15,596,783	43	103.9%	103.1%
関東地方	41,055,079	73	107.2%	106.5%
中部地方	14,238,054	53	105.3%	104.8%
近畿地方	25,283,007	44	104.6%	103.5%
中国・四国地方	11,632,228	34	106.7%	105.3%
九州・沖縄地方	5,934,279	23	104.3%	103.9%

保有店舗数別集計

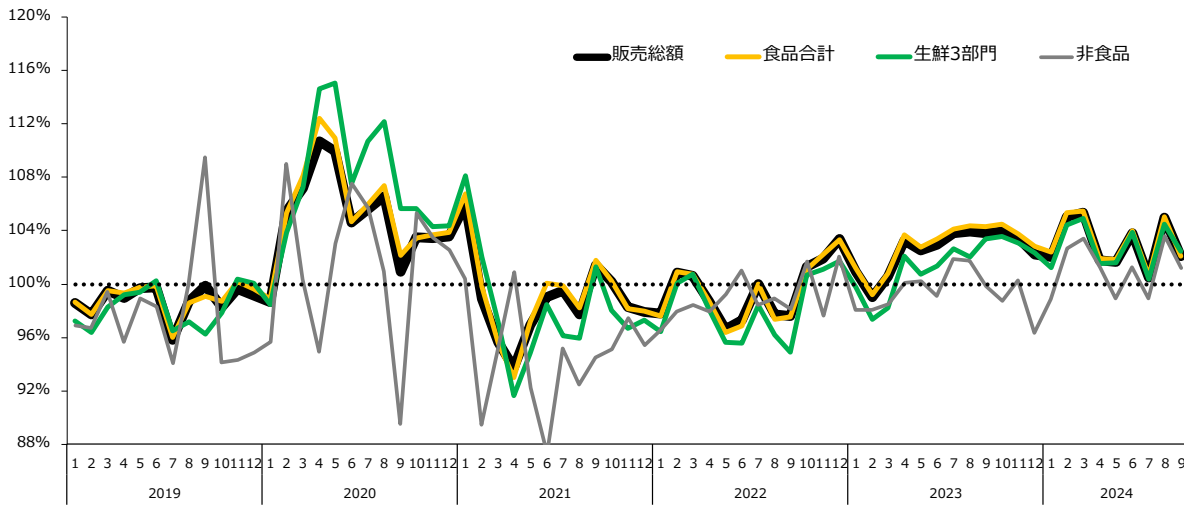
保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	593,111	46	100.8%	102.3%
4~10店舗	4,930,297	84	103.7%	103.5%
11~25店舗	9,686,117	49	103.8%	104.8%
26~50店舗	19,837,687	45	104.2%	103.8%
51店舗以上	78,692,217	46	106.6%	105.4%
集計企業数 (社)	270	既存店総売上高 (万円)	112,099,752	
総店舗数 (店舗)	8,377	店舗平均月商 (万円)	13,578	
総売場面積 (㎡)	13,976,281	売場1㎡あたり売上高 (万円)	8.1	

※売上高は税抜金額

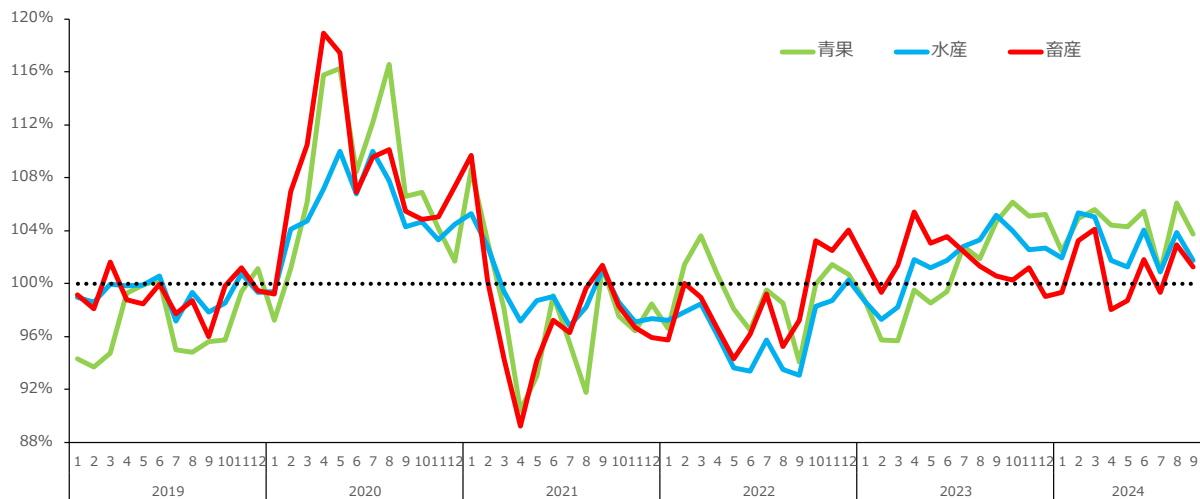
※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

スーパーマーケット販売統計調査 前年同月比（既存店）推移 2019年1月～

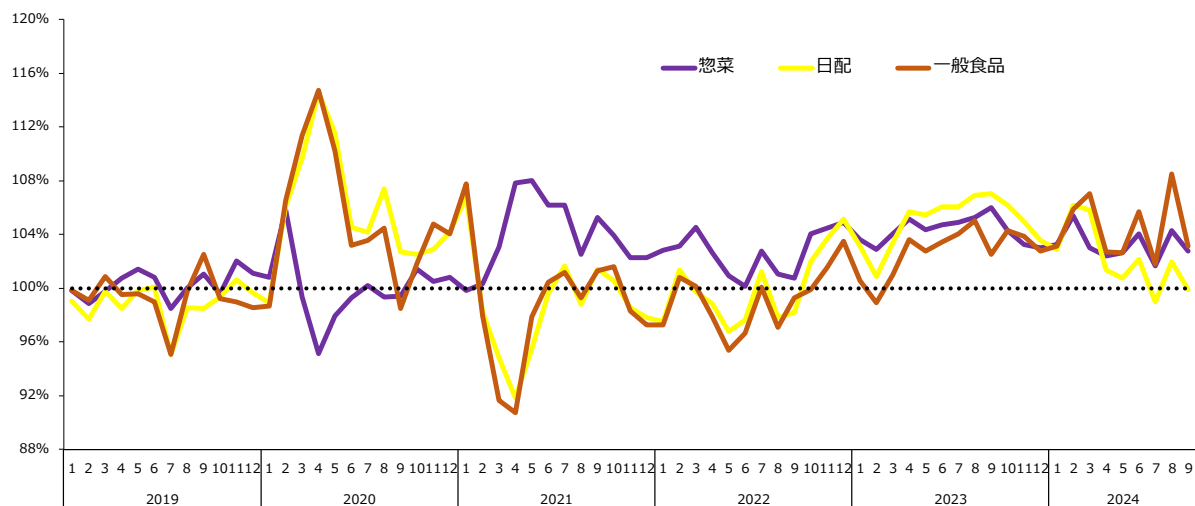
総売上高・食品合計・生鮮3部門・非食品



青果・水産・畜産



惣菜・日配・一般食品



※2024年9月実績は速報版

2024年9月 エリア別気候状況

9月の気温：北日本、東日本、西日本ではかなり高かった。

上旬：東日本、西日本ではかなり高かった。北日本では高かった。

中旬：北日本、東日本、西日本ではかなり高かった。

下旬：東日本、西日本ではかなり高かった。北日本では高かった。

2023年9月との比較：北日本では前年より低く、東日本太平洋側と西日本では中旬にかけて高くなった

	平年との比較 (°C)						今年と前年との差 (°C)		
	2024年9月 (今年)			2023年9月 (前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北日本 日本海側	1.9	1.8	0.9	3.0	4.0	1.9	-1.1	-2.2	-1.0
太平洋側	2.2	2.4	0.7	3.0	4.6	2.1	-0.8	-2.2	-1.4
東日本 日本海側	2.0	5.0	2.6	2.5	4.4	2.6	-0.5	0.6	0.0
太平洋側	2.1	4.9	2.8	1.7	3.9	3.4	0.4	1.0	-0.6
西日本 日本海側	2.4	5.7	3.5	1.4	2.6	2.8	1.0	3.1	0.7
太平洋側	1.8	4.2	3.0	1.3	2.4	3.1	0.5	1.8	-0.1

平年差

+2°C以上
+1°C以上

-2°C以上
-1°C以上

前年差

+2°C以上
+1°C以上

-2°C以上
-1°C以上

9月の日照時間：北日本日本海側、西日本ではかなり多かった。北日本太平洋側、東日本では多かった。

上旬：北日本日本海側、北日本太平洋側、東日本太平洋側、西日本日本海側、西日本太平洋側ではかなり多かった。東日本日本海側では多かった。

中旬：東日本太平洋側、西日本ではかなり多かった。

下旬：北日本日本海側ではかなり多かった。東日本日本海側、西日本日本海側では多かった。北日本太平洋側、東日本太平洋側では少なかった。

2023年9月との比較：上旬は全国的に多く、下旬は北日本と東日本日本海側で多く、東日本太平洋側と西日本太平洋側で少なくなった

	日照時間 平年比 (%)						今年と前年との差		
	2024年9月 (今年)			2023年9月 (前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北日本 日本海側	147	93	129	111	85	104	36	8	25
太平洋側	154	101	88	100	93	97	54	8	-9
東日本 日本海側	122	112	110	95	111	75	27	1	35
太平洋側	139	147	72	101	143	116	38	4	-44
西日本 日本海側	174	150	118	108	90	103	66	60	15
太平洋側	156	138	97	105	117	122	51	21	-25

平年差

平年比150%以上
平年比125%~149%

平年比50%以下
平年比51%~75%

前年差

+50%以上
+25~49%

-50%以下
-25~-49%

9月の降水量：東日本日本海側では多かった。北日本太平洋側、西日本ではかなり少なかった。

上旬：北日本日本海側、北日本太平洋側、東日本太平洋側、西日本日本海側、西日本太平洋側ではかなり多かった。東日本日本海側では多かった。

中旬：東日本太平洋側、西日本日本海側、西日本太平洋側ではかなり多かった。

下旬：北日本日本海側ではかなり多かった。東日本日本海側、西日本日本海側では多かった。北日本太平洋側、東日本太平洋側では少なかった。

2023年9月との比較：上旬は全国的にかなり少なく、中旬は北日本と西日本日本海側で少なく、下旬は東日本日本海側と西日本で多くなった

	降水量 平年比 (%)						今年と前年との差		
	2024年9月 (今年)			2023年9月 (前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北日本 日本海側	43	111	96	102	191	90	-59	-80	6
太平洋側	28	55	89	205	84	117	-177	-29	-28
東日本 日本海側	52	132	212	98	75	125	-46	57	87
太平洋側	68	49	37	149	27	49	-81	22	-12
西日本 日本海側	6	20	109	69	156	38	-63	-136	71
太平洋側	23	34	86	37	51	27	-14	-17	59

平年差

平年比150%以上
平年比125%~149%

平年比50%以下
平年比51%~75%

前年差

+50%以上
+25~49%

-50%以下
-25~-49%

気象庁ホームページ「2024年9月の気候」を参考に事務局作成

スーパーマーケット景気動向調査

2024年10月調査結果（9月実績）
（2024年10月22日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

1. 経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2. カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

経営動向調査DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比(%)に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

【景況感調査】

1. 景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

景況感DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比(%)に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 全国スーパーマーケット協会
一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会

10月調査（9月実績）結果概況

現状、見通し判断DI共に前月より悪化

9月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DIの現状判断は、前月から-3.6の47.4、見通し判断が前月から-3.4の43.4と共に前月から悪化をみせた。

経営動向調査では、売上高DI、収益DIは共に前月から下落したものの、プラス域は維持した。客単価DIがプラス圏で推移するなか、来客数DIはマイナス圏まで下落した。引き続き生鮮品仕入原価DI、食品仕入原価DIは二桁プラス圏で推移するなか、販売価格DIは高水準を維持している。

カテゴリ動向調査では、一般食品DIが、地震や台風に対する備蓄需要のあった前月に比べプラス幅を大きく縮小した。値上げが一巡した日配DI、相場高騰の影響が大きい畜産DI、非食品DIがマイナス圏まで下落した。（最終ページに詳細掲載）

景況感調査は、景気判断DIではやや悪化幅が大きくなったが、その他のDIは前月並みとなった。現状判断、見通し判断DIの変化幅が同様であり、景況感の基調に大きな変化はみられない。（長期傾向はP11参照）

9月は休日が1日少なかったほか、全国153気象台等のうち91地点で、月平均気温が歴代1位となるなど記録的な残暑に見舞われ、秋冬商材の売上が伸び悩んだ。中旬以降、日本海側を中心に線状降水帯が発生、能登などで豪雨被害が発生した。気候変動による売れ筋・買物行動の変化やロスに苦慮する状況が報告される一方、消費者からは災害時や需要急増時においても食品の安定供給を求められており、サプライチェーン強化、商品調達の重要性が高まっている。スーパーマーケットからも、生産からの流通各段階、また行政なども連動を図り、協力を得ながらの適切な情報発信の強化が求められているといえよう。

景況感調査

現状判断

景気判断DI
当月：47.4 (-3.6)
前月：51.0

消費者購買意欲DI
当月：48.1 (-1.6)
前月：49.7

周辺地域 競合状況DI
当月：46.9 (+0.5)
前月：46.4

店舗周辺地域 景気判断DI
当月：47.9 (-0.3)
前月：48.2

見通し判断

景気判断DI
当月：43.4 (-3.4)
前月：46.8

消費者購買意欲DI
当月：45.1 (-1.8)
前月：46.9

周辺地域 競合状況DI
当月：43.5 (+0.2)
前月：43.3

店舗周辺地域 景気判断DI
当月：46.0 (-0.5)
前月：46.5

経営動向調査 経営状況

売上高DI
当月：4.0 (-8.4)
前月：12.4

客単価DI
当月：8.8 (-4.8)
前月：13.6

来客数DI
当月：-2.3 (-4.8)
前月：2.5

収益DI
当月：0.3 (-6.0)
前月：6.3

販売価格DI
当月：18.3 (-1.7)
前月：20.0

生鮮品仕入原価DI
当月：18.9 (-2.6)
前月：21.5

食品仕入原価DI
当月：18.6 (-1.8)
前月：20.4

カテゴリ動向

青果DI
当月：10.2 (-4.7)
前月：14.9

水産DI
当月：1.4 (-4.7)
前月：6.1

畜産DI
当月：-0.3 (-2.1)
前月：1.8

惣菜DI
当月：7.8 (-4.1)
前月：11.9

日配DI
当月：-9.0 (-7.3)
前月：-1.7

一般食品DI
当月：8.1 (-13.0)
前月：21.1

非食品DI
当月：-5.8 (-7.4)
前月：1.6

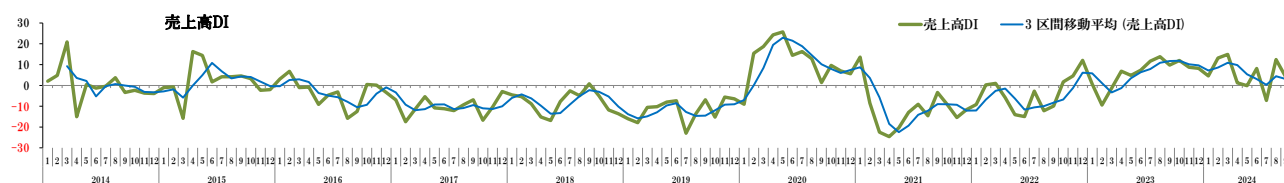
※DI値は前年同月との比較 / ()内は前月DIからの変化

結果詳細 I. 経営動向調査 (2014年1月～)

1. 売上高DI

前月から下落も、プラス圏を維持

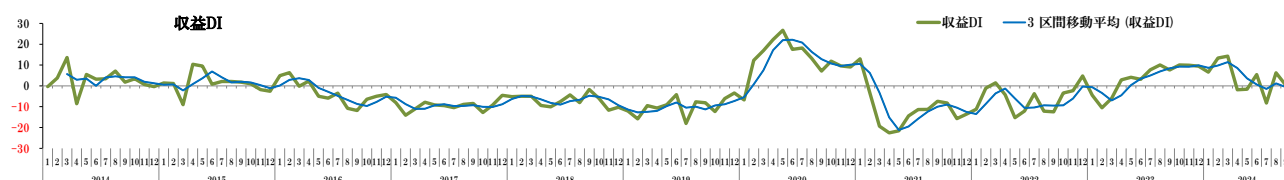
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高 (前月)	2.3	11.1	31.6	44.4	10.5	12.4
売上高 (当月)	3.1	23.0	32.9	36.6	4.3	4.0



2. 収益DI

前月から下落も、プラス圏を維持

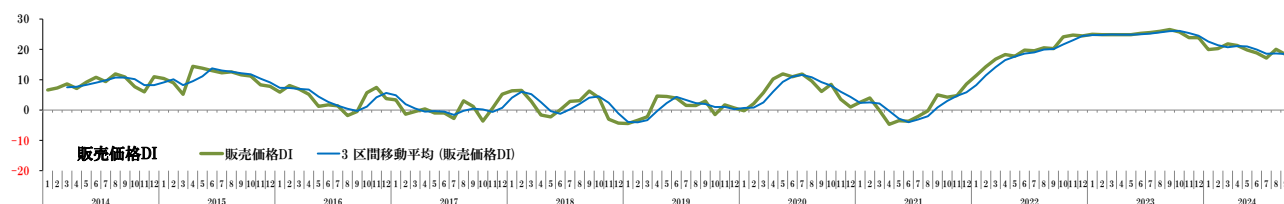
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益 (前月)	5.4	17.4	33.5	34.1	9.6	6.3
収益 (当月)	7.6	24.2	34.4	26.8	7.0	0.3



3. 販売価格DI

前月から小幅に下落も、二桁プラスを維持

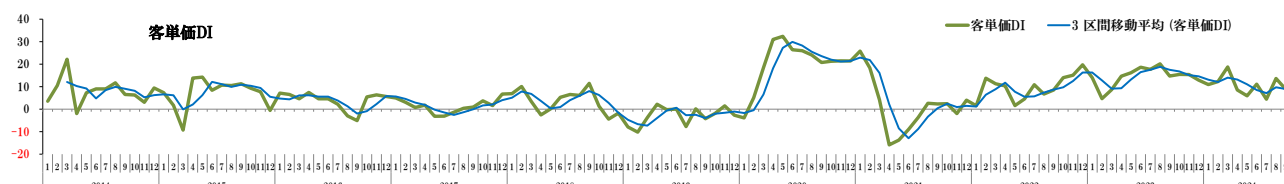
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	0.0	0.6	25.7	66.7	7.0	20.0
販売価格 (当月)	0.0	3.1	25.5	66.5	5.0	18.3



4. 客単価DI

前月から下落も、プラス圏を維持

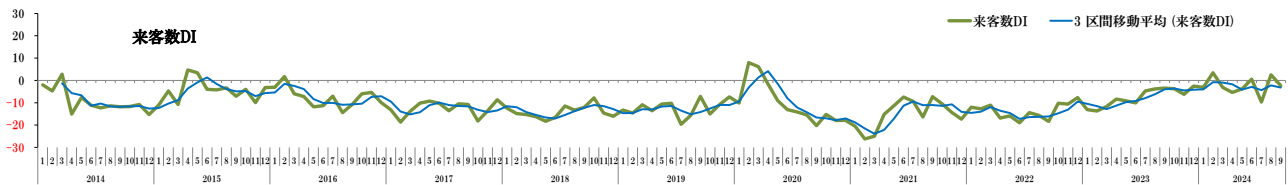
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	0.0	7.6	35.7	51.5	5.3	13.6
客単価 (当月)	0.0	13.8	42.1	39.0	5.0	8.8



5. 来客数 DI

前月から下落、マイナス域に

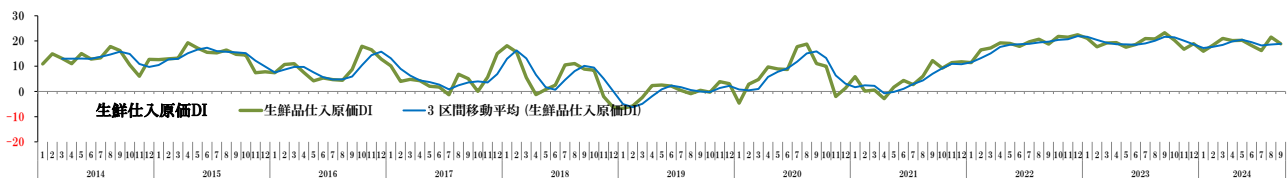
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	2.9	21.6	40.4	32.7	2.3	2.5
来客数 (当月)	5.0	27.3	41.6	24.2	1.9	-2.3



6. 生鮮仕入原価 DI

前月から下落も、二桁プラス水準を維持

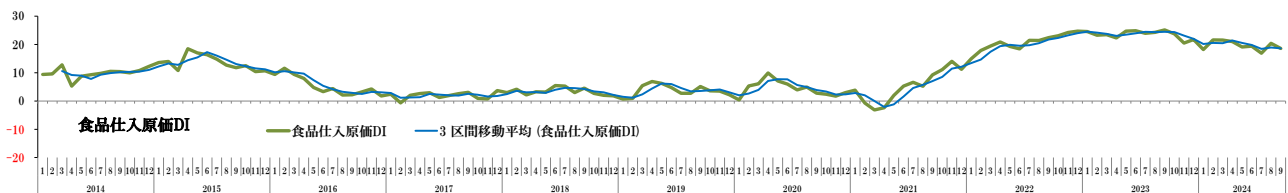
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	0.0	3.0	19.3	66.3	11.4	21.5
生鮮仕入原価 (当月)	1.3	6.5	17.4	65.2	9.7	18.9



7. 食品仕入原価 DI

前月から小幅に下落も、41か月連続プラス

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	1.8	3.0	18.9	64.0	12.2	20.4
食品仕入原価 (当月)	2.6	6.6	13.8	67.8	9.2	18.6

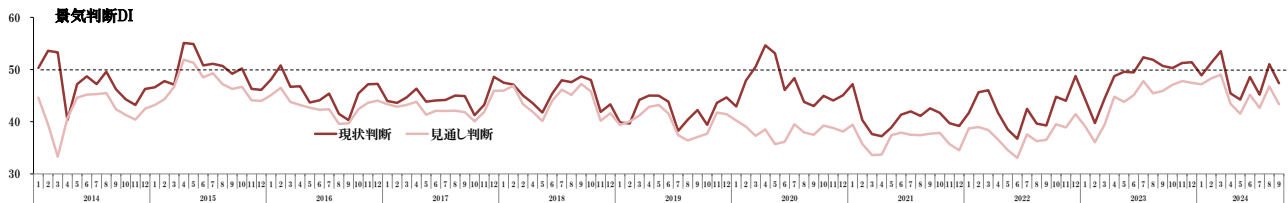


Ⅱ. 景況感調査 (2014年4月～/周辺地域景気判断 2010年4月～)

1. 中核店舗景気判断 DI

現状判断、見通し判断共に悪化

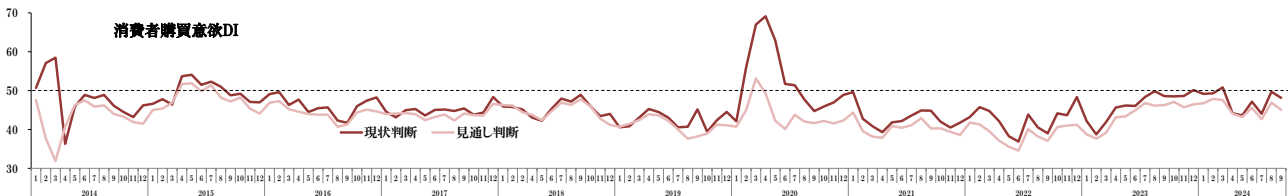
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景気判断 (前月)	0.6	16.3	62.2	20.3	0.6	51.0
【現状】景気判断 (当月)	0.6	19.8	70.4	8.0	1.2	47.4
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景気判断 (前月)	1.8	21.8	64.7	11.2	0.6	46.8
【見通し】景気判断 (当月)	1.9	31.5	58.6	7.4	0.6	43.4



2. 消費者購買意欲 DI

現状判断は小幅に悪化、見通しも悪化

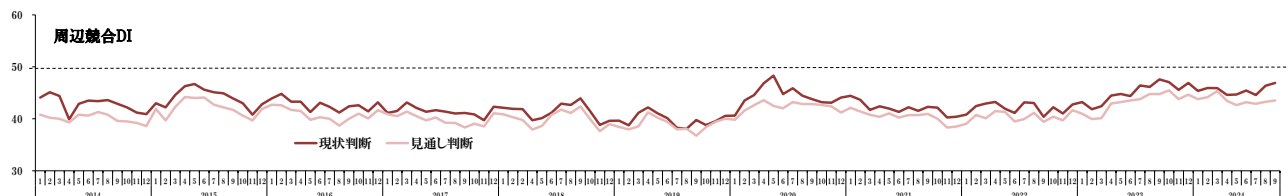
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲 (前月)	0.6	17.4	65.1	16.3	0.6	49.7
【現状】購買意欲 (当月)	0.0	20.4	67.3	11.7	0.6	48.1
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲 (前月)	0.6	21.6	67.8	9.4	0.6	46.9
【見通し】購買意欲 (当月)	0.0	29.6	61.1	8.6	0.6	45.1



3. 中核店舗周辺競合状況 DI

現状判断、見通し判断共に前月水準で推移

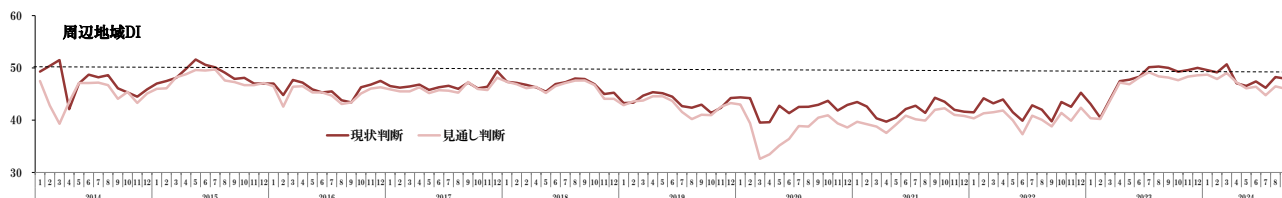
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況 (前月)	1.2	15.7	79.7	3.5	0.0	46.4
【現状】競合状況 (当月)	0.6	14.2	82.1	3.1	0.0	46.9
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況 (前月)	2.9	22.2	73.7	1.2	0.0	43.3
【見通し】競合状況 (当月)	3.7	19.8	75.3	1.2	0.0	43.5



4. 中核店舗周辺地域景気判断DI

現状判断、見通し判断共に前月水準で推移

回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気(前月)	0.0	13.5	80.1	6.4	0.0	48.2
【現状】地域景気(当月)	0.0	10.8	86.7	2.5	0.0	47.9
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気(前月)	0.0	18.8	76.5	4.7	0.0	46.5
【見通し】地域景気(当月)	0.0	19.7	76.4	3.8	0.0	46.0

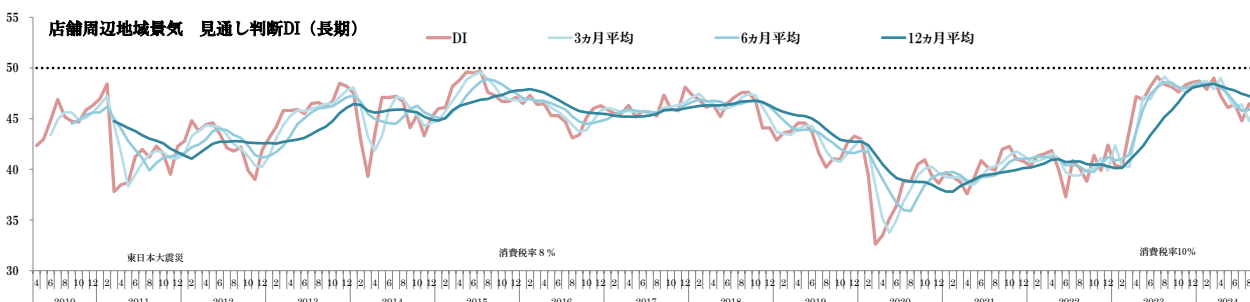
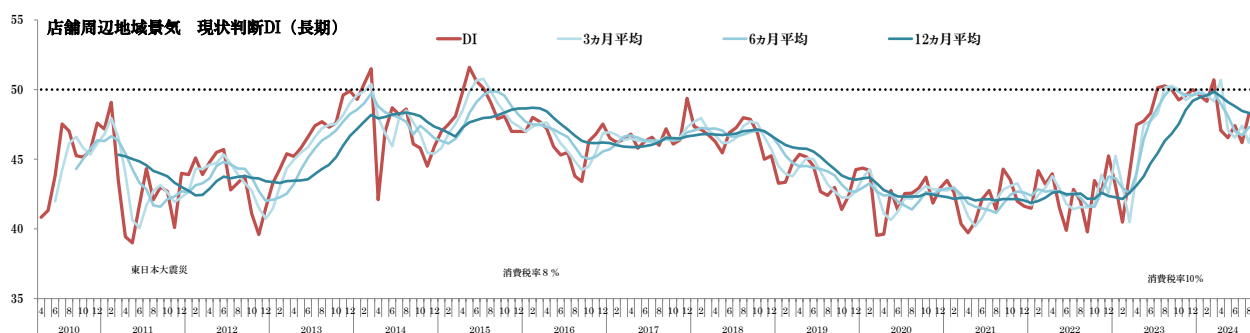


・中核店舗周辺地域景気判断DI 長期傾向(2010年4月～)

周辺地域景気判断DIは2011年3月の東日本大震災以降低迷を続けたが、12年11月から16ヵ月にわたる改善が続き、14年3月は現状判断DIが51.5を記録。14年4月の消費税率8%引き上げにより大幅に悪化するも徐々に持ち直し、2015年5月には現状判断DIは51.6に達し、調査開始以来の最高値を更新した。

しかし、その後15ヵ月間にわたり悪化傾向が続き16年9月には、現状判断DIは43.4まで低迷。以後方向感の乏しい推移が続いたが、18年の後半から悪化傾向が顕著となり、19年7月には現状判断DIは42.3まで低下。20年2月に大幅に悪化した、その後持ち直しの動きが続いた。

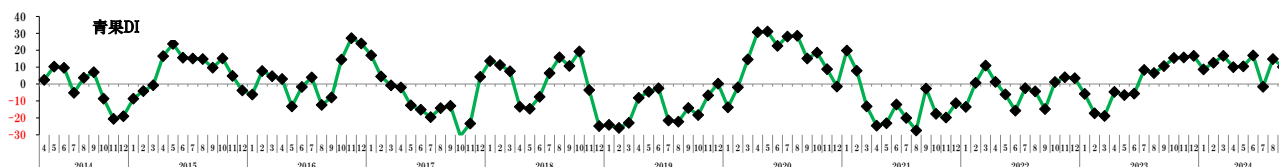
21年は、感染状況により上下に振られる動きが続いた。22年4月以降悪化が続き、6月にはすべての移動平均線が下向きへと変化、感染が再拡大した7月以降には一旦大幅な改善をみせた。23年3月以降は改善が続き、7月には判断の分かれ目である50を突破、その後も高水準を維持したものの24年4月に一転して大きく悪化し、その後は方向感のない推移が続いている。



Ⅲ. カテゴリー別動向

1. 青果DI：10.2（好調）

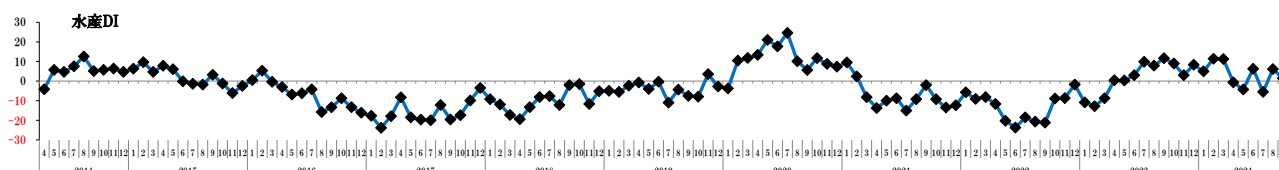
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果（前月）	1.8	11.0	27.6	44.8	14.7	14.9
青果（当月）	3.9	13.5	28.4	46.5	7.7	10.2



猛暑や天候不順により相場高の傾向で推移し、一品単価が高水準で推移した。買上点数が伸長した玉ねぎやジャガイモなどの土物、根菜類、残暑によりサラダ関連野菜のトマトやレタス、カット野菜が好調に推移した。価格の安定しているキノコの動きは良い一方で、気温が高く鍋関連の伸び悩みを指摘するコメントもみられた。果実は相場高の傾向が続くなか、カットフルーツが引き続き好調、ブドウやリンゴ、梨を好調とするコメントが多い。輸入果実は好不調分かれる判断となった。

2. 水産DI：1.4（やや好調）

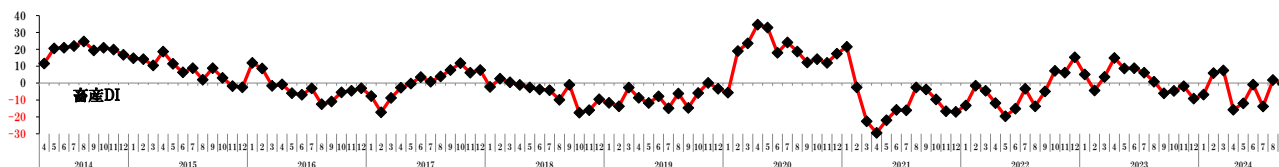
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産（前月）	3.1	20.2	34.4	33.7	8.6	6.1
水産（当月）	4.5	28.2	30.8	30.1	6.4	1.4



旬のサンマが前年に比べ豊漁で大きく売上を伸ばした一方で、秋サケは不漁で苦戦した。単価が上昇している刺身類、残暑の影響でウナギも好調に推移した。カツオやブリは引き続き好調だが、その他生魚は不漁による入荷不足を指摘するコメントがみられた。しらすなどのちりめん類に回復傾向が続くものの、カニやエビなどの冷凍水産品、魚卵は価格高騰で苦戦が続いている。

3. 畜産DI：-0.3（やや不調）

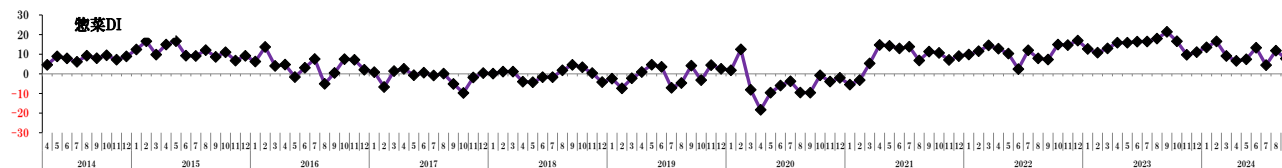
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産（前月）	6.7	23.2	31.7	32.9	5.5	1.8
畜産（当月）	7.1	26.9	33.3	25.6	7.1	-0.3



全般的に相場高が継続しており、特に輸入肉の高騰による影響を指摘するコメントが多い。牛肉は、三連休が1回多い影響か、銘柄牛が前年を超過した店舗がみられた。豚肉は相場がやや落ち着き回復傾向。比較的値ごろ感のある鶏肉への需要シフト傾向は続いており、ひき肉や小間切れなどの低価格商品もよく動いたとのコメントが多い。鍋関連は気温が高く、動きが悪かった。加工肉は全般的な高値傾向で苦戦が続いている。

4. 惣菜DI：7.8（やや好調）

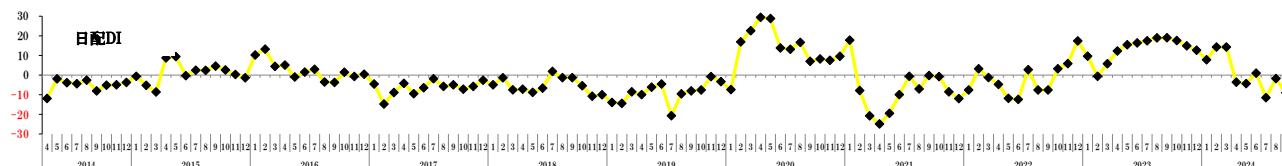
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜（前月）	3.8	9.4	32.5	44.4	10.0	11.9
惣菜（当月）	1.3	13.6	44.8	33.1	7.1	7.8



前月同様に米不足の影響もあってか、米飯類が特に好調となっている。残暑で自宅での調理を敬遠する傾向が継続しており、夕方時間を中心にから揚げなどの揚げ物類、涼味系惣菜が好調に推移した。三連休が前年より1回多く行楽、イベント需要が堅調で、中華惣菜、インスタペーカリーの好調を指摘するコメントも多い。季節感を演出する商品開発の強化を実施している店舗で成果をあげたとのコメントもみられた。

5. 日配DI：-9.0（やや不調）

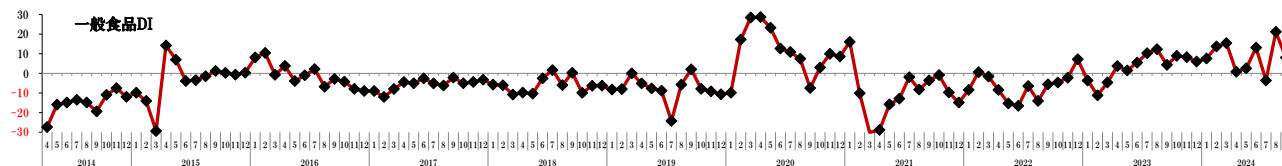
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配（前月）	8.1	21.9	43.1	22.5	4.4	-1.7
日配（当月）	7.8	36.6	40.5	13.7	1.3	-9.0



前月同様に残暑が続き、アイス・氷菓、飲料、涼味麺など夏物商材の販売が好調で、豆腐の動きもよいとのコメントが多かった。一方で、おでんや鍋商材などホット商材の動きが鈍く、和日配は不調となった。米不足報道の影響を受けてか、パン類や麺類の動きがよい。伸びが鈍化していた牛乳・乳製品にも回復傾向がみられた。冷凍食品は引き続き好調。前年価格が高騰した卵には反動減がみられた。気温変化への対応に苦慮するコメントが多い。

6. 一般食品：8.1（やや好調）

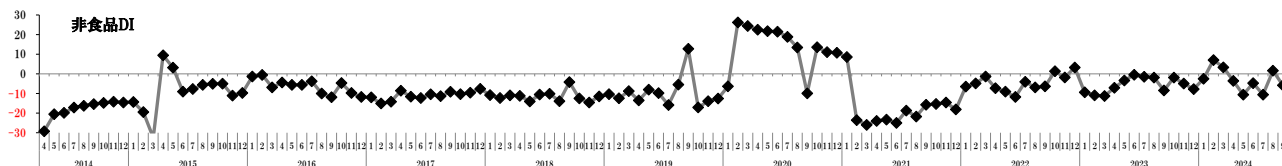
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品（前月）	0.6	6.8	22.2	48.1	22.2	21.1
一般食品（当月）	1.3	19.4	36.8	31.0	11.6	8.1



今月に入り流通在庫の不足が続いていた米の新米が出回りはじめ、相場高を追い風に売上が大きく伸びた。在庫不足時にはレンジ米飯、レトルト米飯、餅などの関連商品の動きがよかった。残暑の影響で飲料、ビールなどの酒類が好調、乾麺やめんつゆ、調味料の動きもよかった。一方で、鍋つゆやホットメニュー関連、菓子類は不調となった。単価上昇の長期化で、節約意識の高まりを指摘するコメントもみられた。

7. 非食品DI：-5.8（やや不調）

回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品（前月）	5.8	23.4	37.7	24.7	8.4	1.6
非食品（当月）	10.9	29.9	35.4	19.0	4.8	-5.8



乾電池など防災対策商品が引き続き好調。残暑により日焼け止め、虫ケア用品や洗濯洗剤などの動きがよかった。紙類は価格の上昇で、好不調の判断がわかれた。衛生用品は低迷が続く。ドラッグストアやホームセンターなどとの競合激化を指摘するコメントが多くみられた。

カテゴリー別DIによる好不調判断

かなり好調：～20 好調：20～10 やや好調：10～0
 やや不調：0～-10 不調：-10～-20 かなり不調：-20～

2024年10月調査（9月実績）キーワードTOP3

1. 残暑による夏物商材好調
2. 米関連需要増
3. 前年との曜日巡り（三連休の1回増）

（参考）2023年10月調査（9月実績）キーワードTOP3

1. 残暑による涼味商材、惣菜好調
2. 調理敬遠傾向
3. 生鮮品相場変化の影響

スーパーマーケット景気動向調査 集計数

9月実績速報版 162社
 8月実績確報版 172社

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

スーパーマーケット統計事務局 tokei@super.or.jp